

[企業向け] CDP概要と回答の進め方

2022年4月

本ウェビナーの内容

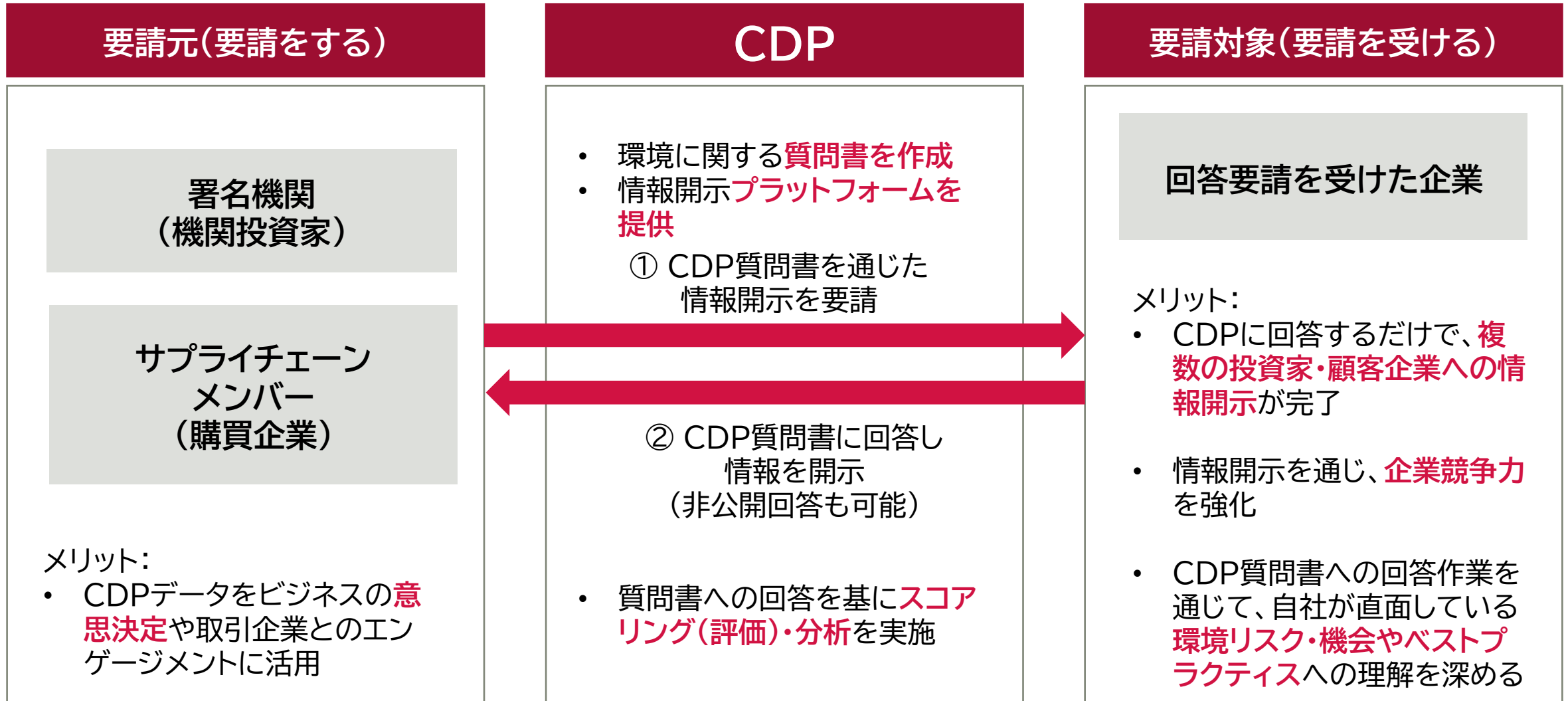
1. CDPの活動概要
2. CDPの質問書
3. CDP回答提出に向けて

CDPの概要



- ▼ CDPは、2000年に英国で設立された**国際環境NGO**。CDP Worldwide-Japanは、日本法人として日本における取組を促進。
- ▼ 世界中の**機関投資家・購買企業の要請**を受けて、企業の**環境情報開示**を促進する活動を実施。
- ▼ ESG情報開示の「E」に関する**グローバルスタンダード**。2021年度は13,000社を超える企業がCDPに情報を開示。
- ▼ 世界中の機関投資家・購買企業はCDPデータを**意思決定**に活用。
- ▼ **都市・地域**の情報開示も促進しており、2021年度は1,100以上の都市・州・地域がCDPに情報を開示。

CDPの情報開示システム



CDP署名機関



2022年、資産総額**130兆米ドル**、**680**を超える署名機関から
全世界**約10,400社**に回答要請(日本企業はプライム市場上場全企業を含む約1,900社が対象)

日本の署名金融機関 (28機関、2022年2月22日時点)	
MS&ADインシュアランスグループホールディングス	農林中央金庫
SOMPOホールディングス	富国生命投資顧問
東京海上ホールディングス	ニッセイアセットマネジメント
住友生命	三井住友トラストアセットマネジメント
明治安田生命保険	りそなアセットマネジメント
かんぽ生命	日興アセットマネジメント
野村ホールディングス	東京海上アセットマネジメント
大和証券グループ本社	三菱UFJ信託銀行
日本政策投資銀行	三井住友DSアセットマネジメント
みずほフィナンシャルグループ	野村アセットマネジメント
三井住友フィナンシャルグループ	アセットマネジメントOne
三菱UFJフィナンシャルグループ	Hibiki Path Advisors
ゆうちょ銀行	コモンズ投信
株式会社十六フィナンシャルグループ	オリックス株式会社

CDPサプライチェーンメンバー

2019年は125社、2020年は155社以上、2021年は200社以上に拡大



CDPサプライチェーンメンバー

2019年は125社、2020年は155社以上、2021年は**200社以上**に拡大

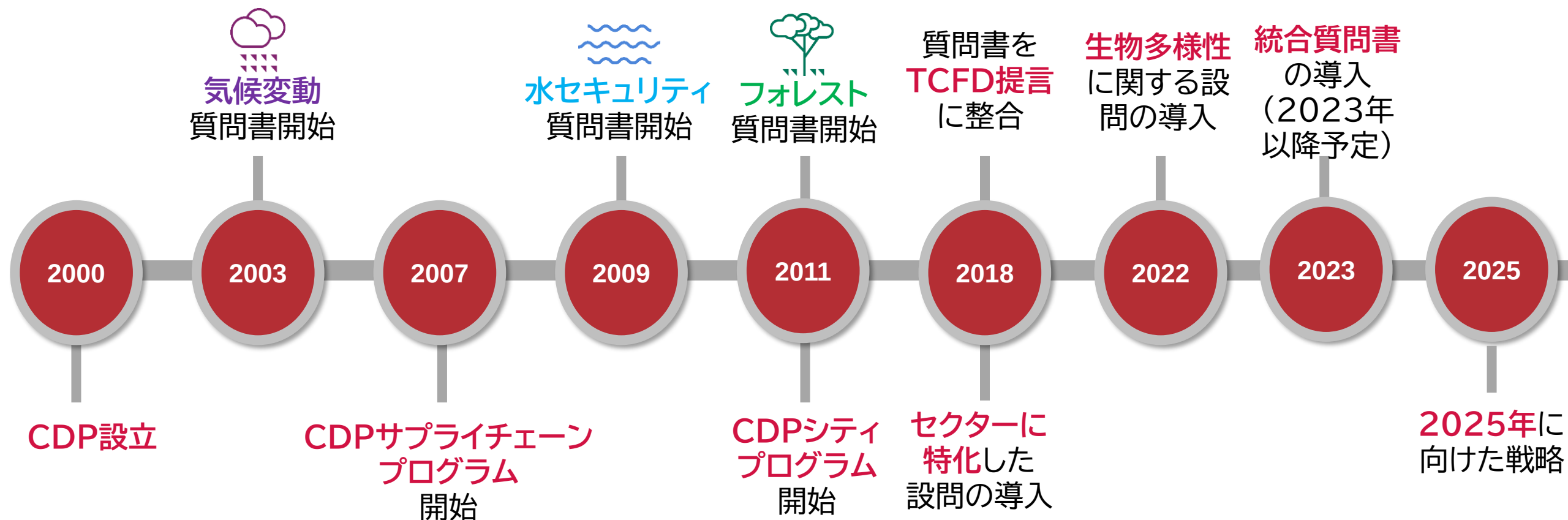


日本のサプライチェーンメンバー(22社)

- 味の素
- 本田技研工業
- 富士通
- 花王
- 日産
- トヨタ自動車
- 日本たばこ産業 (JT)
- NEC
- 積水化学工業
- 横浜ゴム
- NTTデータ
- 野村総研 (NRI)
- 住友化学
- 小林製薬
- いすゞ自動車
- 西日本旅客鉄道
- 神戸製鋼所
- ルネサスエレクトロニクス
- 長谷川香料
- ヤマハ
- 三菱自動車
- AGC



CDP質問書の変遷



CDP質問書の変遷



2000
CDP設立

気
質

開始

開始

設問の導入

性
設
入

統合質問書
の導入
(予定)

向け
導入

20
向
年
に
戦
略

CDPに回答するメリット

- ▼世界中の機関投資家・購買企業・イニシアチブの要請に同時に応える
- ▼TCFDに沿った情報開示が可能
- ▼リスクと機会を把握する
- ▼目標・取組の進捗状況を把握する
- ▼企業の評判を守り、高める
- ▼企業競争力の向上
- ▼政策に先立って対応する



投資家・金融機関によるCDPデータの活用

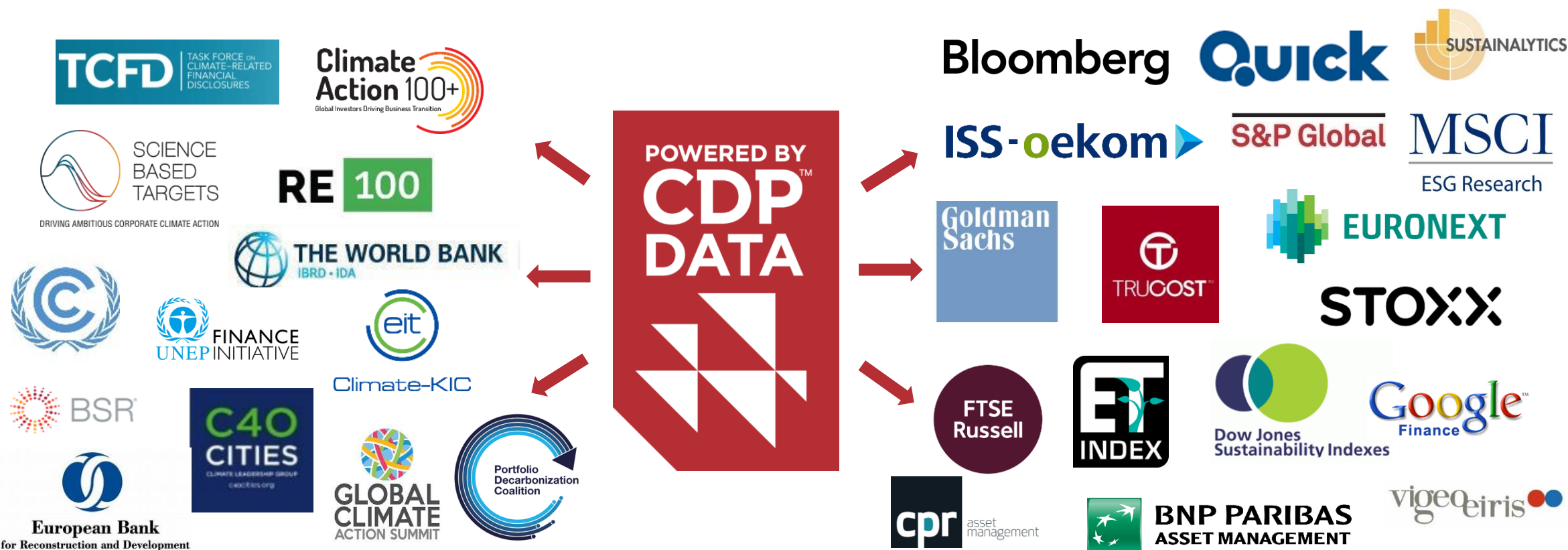


- ▼意思決定
- ▼事業戦略の策定
- ▼エンゲージメント活動
- ▼金融商品開発(サステナビリティ・リンク・ローン等)
- ▼リスク管理
- ▼機会の創出

CDPデータの活用

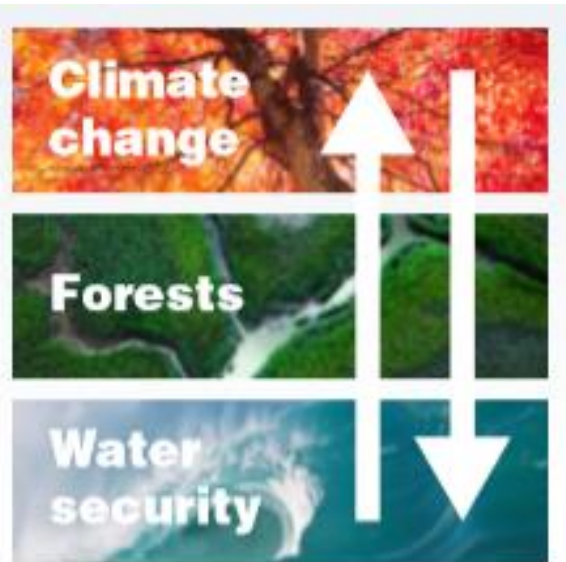


CDPの環境に関するデータは、金融市場、政策イニシアチブ、その他さまざまな主要ステークホルダーによって活用されています。



CDP質問書の構成

複数分野の一貫性



各セクターに対応



TCFD提言との整合性



コーポレートガバナンス・コード(2021年改訂)

コンプライ・オア・エクスプレイン(Comply or Explain)

遵守するか、遵守しない場合はその説明が求められる。

(以下抜粋)

- ▼ 上場会社は、経営戦略の開示に当たって、自社のサステナビリティについての取組みを適切に開示すべきである。また、人的資本や知的財産への投資等についても、自社の経営戦略・経営課題との整合性を意識しつつ分かりやすく具体的に情報を開示・提供すべきである。
 - ▼ 特に、プライム市場上場会社は、気候変動に係るリスク及び収益機会が自社の事業活動や収益等に与える影響について、必要なデータの収集と分析を行い、国際的に確立された開示の枠組みであるTCFDまたはそれと同等の枠組みに基づく開示の質と量の充実を進めるべきである。
- ➡ 2022年度、CDPは署名機関からの環境情報開示要請の対象企業(気候変動)を東証プライム市場上場企業全社に拡大。

CDP質問書の内容

気候変動



【主な質問】

- ガバナンス
- リスク・機会
- 事業戦略
- 目標と実績
- 排出量算定方法
- GHG排出量
- エネルギー
- カーボンプライシング
- エンゲージメント
- 生物多様性 **【新規設問】**

水セキュリティ



【主な質問】

- 現状
- ビジネスへの影響
- リスクと機会
- 施設別水のアカウンティング
- ガバナンス
- ビジネス戦略
- 目標

フォレスト



【主な質問】

- 現状
- リスクと機会
- ガバナンス
- 事業戦略
- 実施

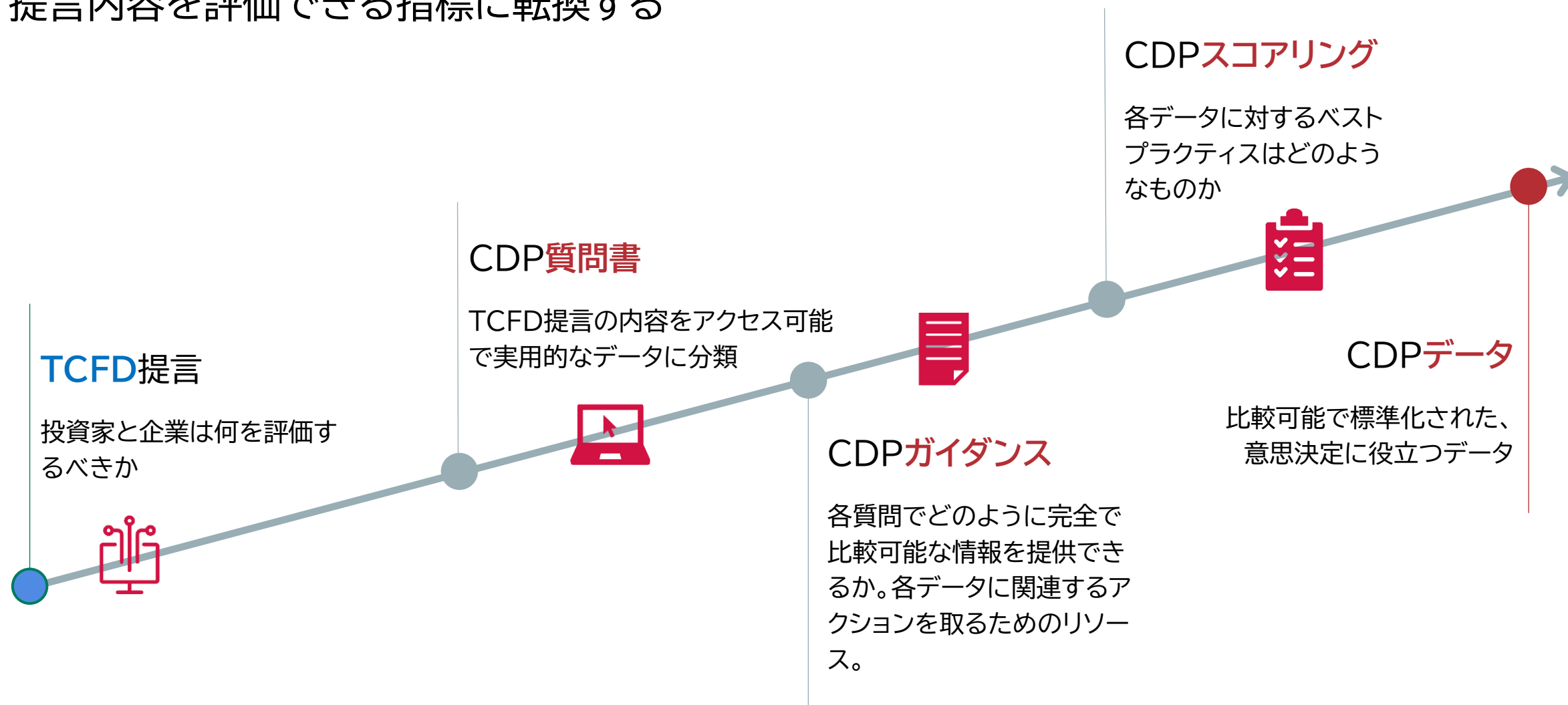
<4つのコモディティ>:

- ◆ 木材
- ◆ パーム油
- ◆ 牛製品
- ◆ 大豆

TCFD(気候変動関連財務
情報開示タスクフォース)の
提言に沿った質問内容

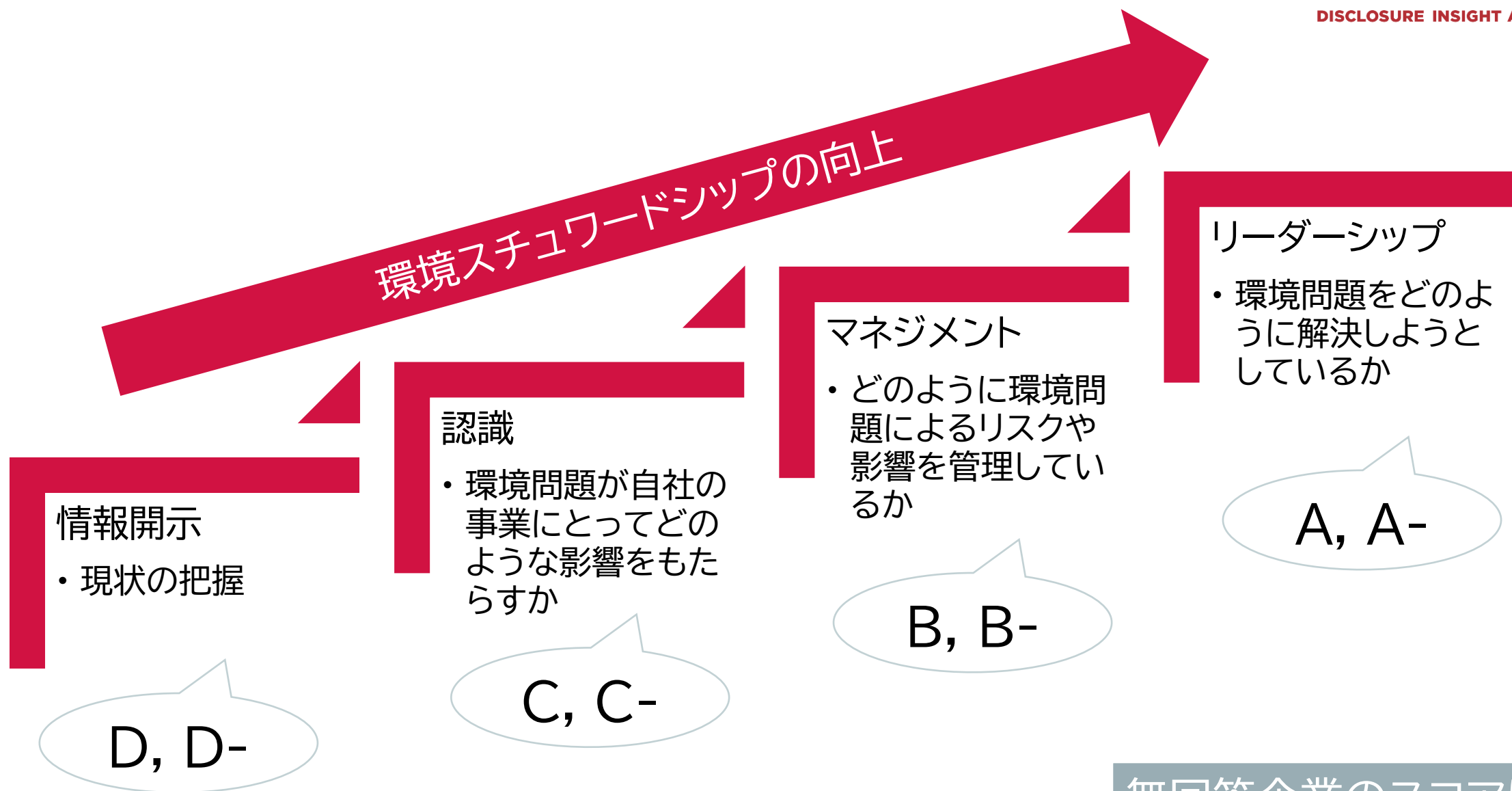
CDPの質問書

提言内容を評価できる指標に転換する



ガイダンス・スコアリング基準などの各種資料は[こちら](#)。

CDPスコアの意味



無回答企業のスコアはF

副大臣(金融)
田 仁志 様



CDP2021 Aリスト企業アワード
(2022年1月19日)

録画は[こちら](#)

2021年 Aリスト日本企業からの評価



CDPに参加することで、社会や投資家の期待を的確に把握し、理解を深め、活動を進化させることができます。

花王株式会社
代表取締役 社長執行役員
長谷部 佳宏

CDPへの回答は、世界の潮流や今後取り組むべき課題を知るために非常に重要であり、サステナブル活動を推進する上で、社内外のステークホルダーとのコミュニケーションに役立っています。

不二製油グループ本社株式会社
代表取締役社長 最高経営責任者(CEO)
酒井 幹夫

CDP回答提出に向けて



- ▼ 4月中旬に送付された回答要請メールから、アカウントの作成またはサインインを行う。
- ▼ 回答ダッシュボードにてメインユーザーの設定を行う。(※メインユーザーは毎年リセットされますので、毎年新たに設定いただく必要があります)
- ▼ 回答事務費用の支払い手続きを行う。
- ▼ CDPが公開している各種資料、CDPが開催するウェビナーなどの情報を参考に、オンライン回答システム(ORS)上で回答を作成する。
- ▼ 7月27日までにORS上で回答を提出する。(※回答の提出ができるのはメインユーザーのみ)

※回答要請を受けていない場合でも自主的に回答することが可能です。ご希望の場合はこちらをご確認ください。

CDP回答にあたっての注意点



- ▼ CDPへの回答には回答事務費用がかかりますが、初回回答企業は費用が免除となります。(※昨年以前に顧客からの要請を受けて質問書に回答されていた場合には費用が発生します)
- ▼ 初回回答企業の場合は簡易版への回答が可能です(回答時に簡易版質問書を選択するページが表示されます)。※簡易版への回答の場合はスコアがつきません。
- ▼ 初回回答企業の場合はスコアを非公開にすることが可能です(デフォルトでは公開となっていますので、ご希望の場合は japan@cdp.net までご連絡ください)。
- ▼ CDPに対しては、親会社がグループ全体の回答を行うことが推奨されています。貴社の連結子会社がプライム市場に上場される場合には japan@cdp.net までご一報ください。
- ▼ より多くのステークホルダーに情報開示を行う観点から、英語での回答を推奨していますが、英語での回答が難しい場合には、日本語での回答も可能です(日本語、英語のどちらで回答してもスコアリングには影響ありません)。

CDPが今後公開・開催する資料・ウェビナーのご案内



▼ 初回回答企業向けウェビナーシリーズ(※日時・内容は変更となる可能性があります。最新の情報はメールでご案内いたします。)

第3回 4月22日(金)14:00~15:00 TCFD:リスク管理

第4回 5月27日(金)14:00~15:00 TCFD:指標と目標

第5回 6月24日(金)14:00~15:00 回答締切直前ウェビナー

各回とも、30分ほどの質疑応答時間を設けますので、初歩的なことも含めて不明点を解消いただければ幸いです。

▼ 気候変動・水セキュリティ・フォレスト質問書に関するオンデマンドウェビナー(概要編):4月中旬頃までに公開

▼ 気候変動・水セキュリティ・フォレスト質問書に関するウェビナー(詳細編):5月中旬頃までに開催

過去のイベントの録画・資料と最新のイベント情報はこちら:<https://japan.cdp.net/events>

「CDP 2021 気候変動・フォレスト報告会」開催決定

日時:4月26日(火)14:00~16:30 (予定)

ご登録はこちら: https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_wxvMVf4-TByhC-HA3o_gBg

CDP2022年回答のスケジュール



1月

- ・ 2022年質問書・ガイダンスの公表

3月

- ・ 2022年スコアリング基準の公表
- ・ 正式な回答要請レターの送付

4月中旬

- ・ 2022年オンライン回答システム (ORS)のオープン

3～6月

- ・ ライブウェビナーの開催／オンデマンドウェビナーの公開
- ・ 資料の日本語版公開(4月末-5月頃)

7月27日

- ・ 回答の提出×切 ※期日後に提出された回答は評価対象外となります。

秋

- ・ 回答の公開 ※要請元に回答が提供されます。

冬

- ・ スコアの公表

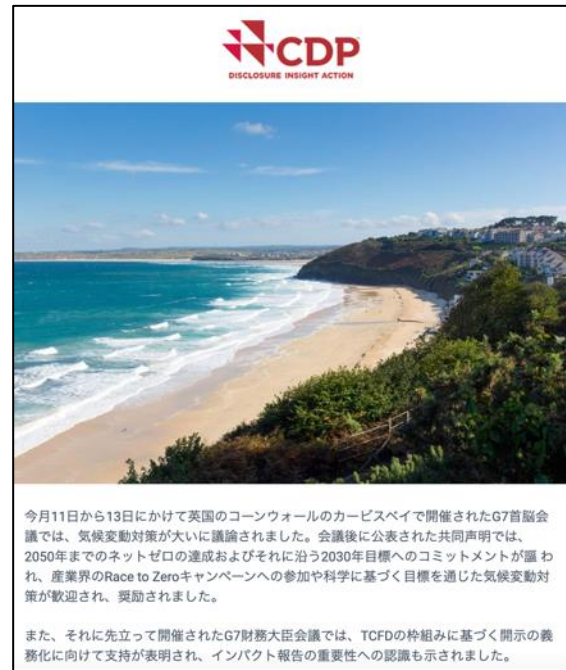
CDPニュースレターのご案内



CDPジャパンでは、ニュースレターの配信を行っております。ウェビナーやシンポジウム、レポートに関する最新の情報を提供しておりますので、ぜひご登録ください。

過去のニュースレターはこちらからご覧いただけます。

ご登録フォーム





CDP Worldwide-Japan

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



www.cdp.net/ja/japan (日本語サイト)



お問い合わせ : japan@cdp.net